

社会資本整備審議会道路分科会 第14回東北地方小委員会

【議事概要】

1. 日 時

平成27年3月4日（水）15：00～17：00

2. 場 所

AER（アエル）21F A-2会議室（TKPガーデンシティ仙台）

3. 出席者

〈委員長〉

大滝 精一 東北大学大学院 経済学研究科 教授

〈東北委員〉

大泉 太由子 （公財）東北活性化研究センター
調査研究部 専任部長兼主席研究員

浜岡 秀勝 秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授

渡辺 泰宏 （一社）東北経済連合会 専務理事

4. 議事内容

○審議結果

【一般国道13号（東北中央自動車道）新庄金山道路】

- ・ 一般国道13号（東北中央自動車道）新庄金山道路の新規事業採択時評価について、小委員会として、妥当と判断された。

【一般国道13号（東北中央自動車道）横堀道路】

- ・ 一般国道13号（東北中央自動車道）横堀道路の新規事業採択時評価について、小委員会として、妥当と判断された。

【一般国道6号勿来バイパス】

- ・ 一般国道6号勿来バイパスの新規事業採択時評価について、小委員会として、妥当と判断された。

○主な意見

【新規事業候補箇所の選定の考え方】

- ・対策未実施区間（新規事業候補対象区間）の抽出にあたっては、結果が恣意的と受け取られないよう、課題抽出の結果、複数の事業が存在していることを明記したうえで、事業実施環境等の確認により、新規事業候補対象区間を抽出したと分かるよう修正記載すべき。

【一般国道13号（東北中央自動車道）共通】

- ・これまでの地域住民への意見聴取において、冬でも安定して走行できるよう強く望まれていることから、当該道路の整備が必要。
- ・道路整備の効果として、冬期の交通改善による暮らしやすさの向上を定量化して評価することは難しいが、雪国で暮らす住民にとって、冬期交通の改善は長年の悲願であることを理解してもらえるよう努めてほしい。
- ・事業の実施にあたっては当該地域の冬期気象条件も考慮し、通年を通した走行性を確保する防雪柵等の対策を検討すべき。

【一般国道13号（東北中央自動車道）新庄金山道路】

- ・整備に伴うIC接続道路の交通量の増加が見込まれることから、負荷をかけないために、主寝坂道路までの残区間も早急に事業化すべき

【一般国道13号（東北中央自動車道）横掘道路】

- ・横掘道路については、高規格道路の院内道路と湯沢横手道路間をつなぐ重要な路線のため、整備を進めてほしい。

【一般国道6号勿来バイパス】

- ・福島県浜通り地方において、浸水エリアを避ける山側ルートはドライバーが安心して通過できるので、一日も早い開通をお願いしたい。
- ・勿来バイパスは県境を跨ぐ道路であるにも関わらず交通量が多く、バイパス整備により交通の分散が図られ、渋滞が減ると思われる。